



2018年8月 2版

## Windows Storage Server



本機を取り扱う前に本書をよくお読みください。  
本書は大切に保管してください。

はじめに、添付の「安全にご利用いただくために」を参照して、本製品に関する安全上の注意事項を確認してください。

### 本製品の利用目的

本製品は、日本政府による高性能コンピューターの平和利用に関する指導の対象です。ご使用になるときは、以下について注意してください。

1. 不法侵入、盗難等の危険がない場所に設置してください。
2. パスワード等により、適切にアクセス管理してください。
3. 大量破壊兵器、ミサイルの開発、またはそれらの製造等に関して、不正にアクセスされるおそれがあるときは、事前に弊社相談窓口までご連絡ください。
4. 不正使用が発覚したときは、すみやかに弊社相談窓口までご連絡ください。

弊社相談窓口：ファーストコンタクトセンター 電話番号：03-3455-5800

箱を開けてから本機が使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

### ユーザーズガイドについて

ユーザーズガイドは、製品添付のEXPRESSBUILDERに格納しています。Windowsが動作しているコンピューターにEXPRESSBUILDER DVDをセットし、画面に従ってメニューを起動後、「説明書」をクリックします。



## Step 1 添付品を確認する

梱包箱を開け、次の添付品が揃っていることを確認してください。

- 本体×1
- 保証書×1\*1
- スタートアップガイド(本書)×1
- 安全にご利用いただくために×1
- ソフトウェアパッケージ一式\*5
- EXPRESSBUILDER
- デバイス固定用ミリネン×2\*2
- 電源コード×1または×2\*3
- ACケーブルタイ(電源コード固定用)×1または×2\*3
- ベゼルロックキー×2\*4
- ゴム足×4

- スタートアップバックや工場組み込み(BTO)出荷製品などは、「組み込み製品・添付品リスト」を参照してください。
- 添付品は、なくさないよう大切に保管してください。

\*1 梱包箱に貼り付けられています。

\*2 内蔵バックアップ装置をBTOで購入されたときは本機に実装済みです。

\*3 N8181-134 冗長電源ユニット (460W) 搭載時

\*4 2.5型HDDケーシング搭載の場合のみ本機に添付されます。

\*5 ソフトウェアパッケージの内容については、ソフトウェアパッケージ内の構成品表を参照してください。

## Step 2 内蔵オプションを取り付ける

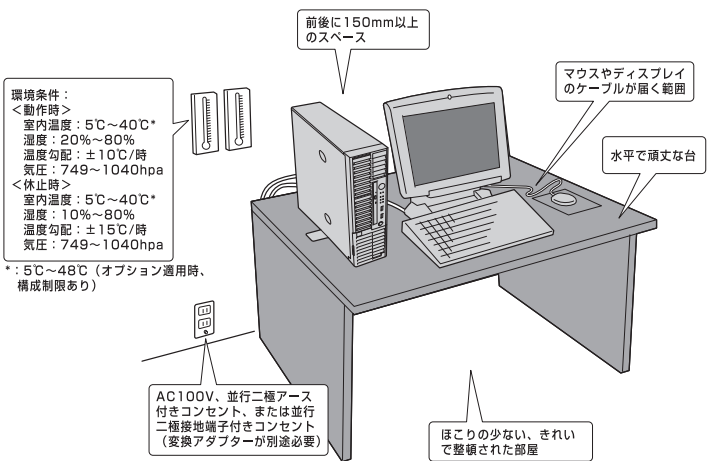
内蔵オプションを取り付けます。オプションを購入していない場合、または工場組み込み出荷(BTO)で購入した場合は、Step 3へ進んでください。

- ① 「ユーザーズガイド」の「内蔵オプションの取り付け/取り外し」、およびオプションに添付の説明書を参照してください。

## Step 3 適切な場所に設置する

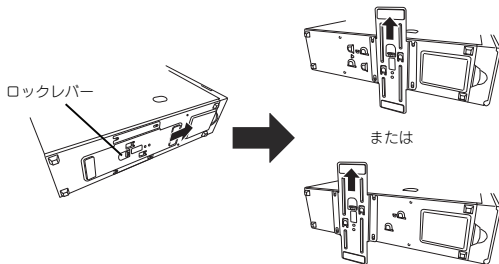
本機の設置場所を決めます。

- ① 「ユーザーズガイド」の「設置と接続」を参照してください。



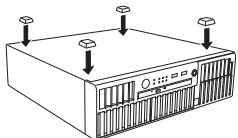
### 縦置きの場合

ロックレバーを浮かせてスタビライザーをいったん取り外し、図のように取り付け直してください。詳細は、「ユーザーズガイド」の「設置の準備」を参照してください。



### 横置きの場合

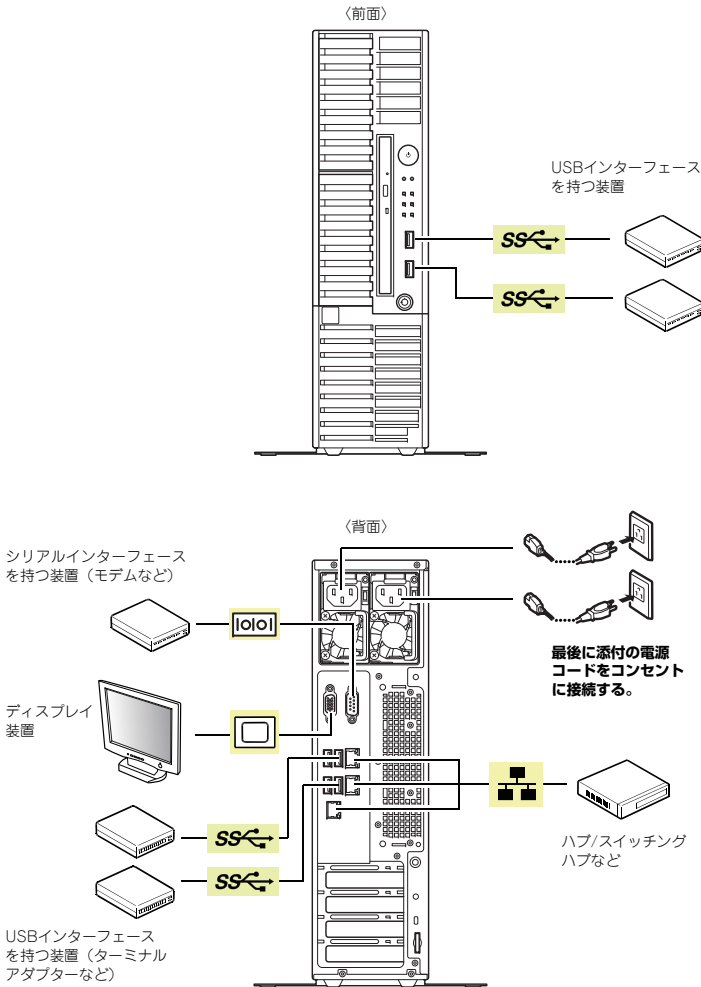
底面にゴム足を取り付けてください。詳細は、「ユーザーズガイド」の「設置の準備」を参照してください。



## Step 4 ケーブルを接続する

本機にケーブルを接続します。

- ① 「ユーザーズガイド」の「設置と接続」を参照してください。



- 初期設定時、本装置に接続するケーブルは、LANケーブルと添付の電源コードのみです。その他のケーブルを接続する必要はありません。また、運用時に複数のLANケーブルを使用する場合でも、まず1つのLANポートのみに接続して初期設定を行い、設定完了後に残りのLANポートに接続してください。
- 本装置への各種オプションの取り付け・取り外しは、本書で示すセットアップが完了した後に行ってください。

以上で本体の電源をONにできる状態になりました。

## Step 5 電源をONにする

電源をONにします。

## Step 6 初期設定をする

管理PCでiStorage NS 初期設定ツール（以下、初期設定ツール）を使用し、本装置の初期設定を行います。

初期設定ツールの実行は、本装置と同じネットワーク上にある管理PC（Windows Server 2003/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2/Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1/Windows 10）と添付のEXPRESSBUILDERを使用します。

初期設定に必要な情報として、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「コンピュータ名」、「管理者パスワード」を事前に決定してください。

\* 管理PCは iStorage NS と同一LAN上に存在するコンピューターを使用します。（管理PCは、他のネットワークへの接続は行わないでください。）

\* 初期設定を行う場合は、管理PCのファイアウォールの設定変更が必要になる場合があります。詳細についてはEXPRESSBUILDERの「各種アプリケーション」から「iStorage NS 初期設定ツール」を起動し、「ヘルプ」の「トラブルシューティング」-「ファイアウォール設定手順書」を参照してください。

\* 初期設定は1台ずつ行ってください。

\* 初期設定ツールでは、iStorage NSのUDP 30000番ポートを使用します。

- ① 本体の電源が入っていることを確認し、管理PCの光ディスクドライブにEXPRESSBUILDERをセットします。

オート起動機能によりメニューが自動的に表示されます。セットしたタイミングによっては、自動的に起動しない場合があります。そのような場合は、エクスプローラから「マイコンピュータ」を選択し、セットした光ディスクドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

- ② 「各種アプリケーション」をクリックして、表示されたメニューから「iStorage NS 初期設定ツール」を選択し、「インストール」ボタンをクリックすることで、iStorage NS 初期設定ツールを起動します（実際のインストールは行われません）。



- ③ 初回のみ【ご確認】の画面が表示されます。装置添付の使用許諾契約書をご一読の上、【OK】をクリックします。



- ④ 初期設定が必要なサーバーを検出するために、【開始】をクリックします。

対象となるサーバーが、初期設定ツール画面内の「サーバーのコンピュータ名」欄に「未設定」と表示されます。「未設定」のサーバーが検出されましたら、【停止】をクリックして自動発見を停止後、【終了】をクリックして自動発見を終了させます。なお、対象となるサーバーのOSが起動するまでには、構成によって、20～30分かかる場合があります。30分経っても検出できない場合は、再度【開始】をクリックしてください。



- ⑤ 「未設定」のサーバーを選択し、リモートデスクトップ起動の表示が「確認中」から「可」に変わった場合は、「リモートデスクトップの起動」をクリックして次のステップの③に進みます。「不可」に変わった場合は、「設定変更」をクリックします。



- ⑥ コンピュータ名、IPアドレス、サブネットマスクを入力して【適用】をクリックします。



- ⑦ 設定変更を確認するウィンドウが表示されたら、【OK】をクリックします。

サーバー設定の変更が始まり、サーバー設定状況の内容が順次更新されます。

- ⑧ 完了メッセージが表示されたら、【OK】をクリックします。



## Step 7 管理PCからリモートデスクトップ接続を行って設定する

本装置と同じネットワークアドレスにある管理PCを使用して必要事項を設定します。設定方法の詳細が必要な場合は、管理者ガイドを参照してください。

- ① 管理PC上でリモートデスクトップを起動します。

- ② 接続先に本装置のコンピュータ名またはIPアドレスを入力します。

- ③ ユーザー名に「administrator」を入力し、次にパスワードを入力して【OK】をクリックします。

出荷時のパスワードについては、本装置に添付のスタートアップガイドに記載されています。

画面の右側に「ネットワーク」の画面が表示される場合があります。「はい」をクリックすると、ネットワーク探索を行うためのポートが開放されますが、iStorage NSシリーズでは本機能は有用ではありませんので、「いいえ」をクリックすることを推奨いたします。

- ④ リモートデスクトップ接続の画面内で【Ctrl+Alt+End】キーを押します。（【Ctrl+Alt+Delete】ではないので注意してください）

- ⑤ iStorage NSに接続されていることを確認し、【パスワードの変更】をクリックして、パスワードの変更を行います。

● 本装置のセキュリティを保つために、出荷時のadministratorのパスワードを必ず変更してください。  
● パスワードの文字数は6文字以上である必要があります。また、パスワードには、英大文字、英小文字、数字、記号の4つの種類のうち3つの種類が使用されていなければなりません。  
● パスワードの有効期限は初期設定では42日になっておりますので、お客様のポリシーに合わせて適宜変更してください。

- ⑥ 初期設定ツールで使用したポートを閉鎖します。自動起動されているNEC提供の【管理者メニュー】から【Windowsファイアウォール】をクリックします。  
"Windowsファイアウォール"ウィンドウの左上の【Windowsファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可】をクリックします。  
"許可されたアプリ"ウィンドウの一覧の"iStraguiv"の左端のチェックをはずし、【OK】をクリックします。

- ⑦ 初期設定ツールで使用したサービスを停止・無効化します。自動起動されているNEC提供の【管理者メニュー】から【サービス】をクリックします。サービスの一覧から「iStrageNS(UI\_SV)」を選び、ダブルクリックします。プロパティ画面が開いたら、スタートアップの種類を【自動】から【無効】に変更します。【停止】ボタンを押下後、サービスが停止されたことを確認し、【OK】をクリックして画面を閉じます。

- ⑧ 初期構成タスク画面が表示されますので、必要事項を設定します。

\* タイムゾーンの設定  
日時が自動更新の環境でない場合は設定してください。  
\* コンピューター名とドメインの入力  
初期設定ツールでコンピューター名を変更していない場合、ドメインに参加する場合は設定してください。（再起動が必要となります）

## Step 8 ESMPROをセットアップする

NECが提供するサーバー管理・監視ソフトウェア「ESMPRO<sup>®</sup>」のセットアップをします（その他にもRAIDシステムを管理するソフトウェアなどがあります。詳しくは各ソフトウェアのドキュメントを参照してください）。

本装置には、「ESMPRO/ServerAgentService」と「ESMPRO/ServerManager」がバンドルされています。

ESMPRO/ServerAgentService

ESMPRO/ServerAgentServiceはESMPRO/ServerManagerと連携し、iStorage NSシリーズの監視、および各種情報を取得するためのソフトウェアです。

ESMPRO/ServerManager

ESMPRO/ServerManagerはiStorage NSシリーズと同一のネットワーク上にある管理PCにインストールするソフトウェアです。EXPRESSBUILDERを光ディスクドライブにセットして表示されるメニューから「各種アプリケーション」をクリックします。表示された各種アプリケーションの選択画面で「ESMPRO/ServerManager」を選択し、【インストール】をクリックします。以降は、画面に表示されるメッセージに従ってください。



### iStorage NS連携モジュール

お客様がESMPRO/ServerManager Ver.6 より前のバージョンをご使用の場合、iStorage NS 連携機能が利用可能です。  
EXPRESSBUILDERを光ディスクドライブにセットして表示されるメニューから「各種アプリケーション」をクリックします。表示されたメニューから「iStorage NS 連携モジュール」を選択し、【インストール】ボタンをクリックします。以降は、画面に表示されるメッセージに従ってください。

以上でセットアップは完了です。引き続き、管理者ガイドを参照して必要な設定を行ってください。

### お読みください

#### OSの再セットアップについて

OSを出荷状態に戻す際は、コンソールが必須となります。  
再セットアップの完了は、コンソール上に「The recovery of the operating system has completed successfully.」というメッセージが表示されたことにより確認します。  
手順の詳細はメンテナンスガイドをご参照ください。

#### 増設メモリについて

搭載メモリが32GBで、ボリュームシャドウコピーの利用を予定されている場合は、ページファイルやダンプファイルの作成先ドライブを考慮する必要があります。詳細は、管理者ガイド概要編「3.6 メモリを増設する」をご確認ください。

#### 電源制御機能の使用について

本装置には電源制御機能をサポートしていないアプリケーションが含まれています。スタンバイ/休止状態で運用しないでください。

#### 本装置のシャットダウン操作について

本体のPOWERスイッチを使って本装置をシャットダウン(電源OFF)しないでください。シャットダウンは、管理PCからリモートデスクトップ接続し、シャットダウン操作を行ってください。UPSに接続している場合は、UPSの管理ソフトウェアを利用したスケジュールシャットダウンを利用することもできます。

#### Storage Spaceについて

Storage SpaceはRAID機能が有効になっている物理ディスクをサポートしていません。iStorage NSシリーズでは、RAID機能を標準で実装しており、無効化することができます。このことから、iStorage NSシリーズにおいては、Storage Spaceをご利用頂くことはできません。

#### ボリュームサイズの変更

ユーザーボリュームサイズを変更する場合は、データを格納する前に対応が必要です。手順については、管理者ガイド概要編「1.2 ボリュームを検討する」をご確認ください。

#### NICチームングについて

OSのNICチームング機能を利用する場合は、すべて同じ速度のNICを用いてチームを作成してください。

#### 本装置のドキュメントについて

管理者ガイドおよびユーザーズガイド・メンテナンスガイドはEXPRESSBUILDERに格納されていますが、改版されることがあります。最新版は以下にてダウンロードできますので、ご確認をお願いします。[NEC iStorage NSシリーズサポート情報] <http://support.express.nec.co.jp/istorage/> [補足] 上記URLにて「型番・モデル名から探す」を選択し、テキストボックスにモデル名を入力して検索してください。

### iStorage NS シリーズのご利用にあたって

iStorage NSシリーズでは、基本となるサポート情報を以下のサイトに公開していますので、定期的にご参照頂くか、RSSの配信登録を行い、製品をメンテナンスされることをお勧めします。  
<http://support.express.nec.co.jp/istorage/>  
また、有償の保守サービスとして「PP・サポートサービス」を準備しております。本サービスをご契約いただくと、電話や電子メールなどでのお問い合わせ、ご契約者様専用IDでのWebサーバーへのアクセスなどが可能となり、ソフトウェアのQ&Aや技術情報などをご覧いただけるようになります。また、ソフトウェアのリビジョンアップ(修正プログラム)情報の提供などもご契約者様だけのサービスとなります。「PP・サポートサービス」の詳細内容については、以下をご覧ください。  
[PP・サポートサービス] ご案内のページ  
<http://jpn.nec.com/service/support/pp/index.html>

### お客様登録をする

保証書に記載されている保証を受けるためには、ユーザ登録が必要です。  
インターネット（ClubExpressサイト）よりユーザ登録を行ってください。  
<http://acc.express.nec.co.jp/Main/main.asp>

### 商標について

EXPRESSBUILDER、ESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。MicrosoftおよびWindows、Windows Serverは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。このマニュアルは再生紙を使用しています。  
© NEC Corporation 2018  
NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。